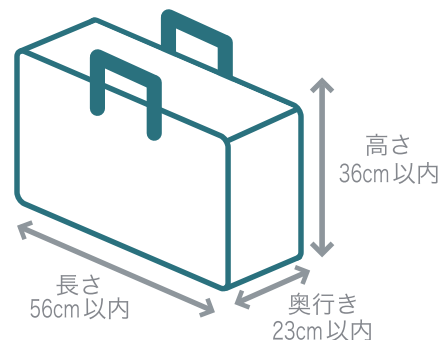


※この規則は2015年9月1日以降のご搭乗に適用となります。記載内容は予告なく変更となることがございます。

## 機内持込み手荷物 | Cabin Baggage

- ・お一人様1点, 7kgまで
- ・3辺の合計が115cm以内  
各辺の長さが右の図の長さ以内に収まるもの  
(キャスターや持ち手部分, サイドポケットを含めます)



※お荷物のサイズや形状、客室内の収納スペースの状況により、適切に収納ができないと判断した場合は、搭乗口や機内で「受託手荷物」として貨物室にお預かりさせていただく場合がございます。安全で快適なフライトのために、お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

※インドネシア国内線の小型機（ATR型機、CRJ型機）は、収納スペースの関係上3辺の合計が92cm以内で、各辺が長さ41cm以内、高さ34cm以内、奥行17cm以内に収まるものとなります。

## 受託手荷物 | Checked Baggage

### 無料受託重量

	すべての重量の合計	
	国際線（日本発着路線）	インドネシア国内線
ファーストクラス	64 kg	40 kg
ビジネスクラス	64 kg	30 kg
エコノミークラス	46 kg	20 kg

- インドネシア国内線を、弊社便の国際線航空券の一部として含まれる形で購入された場合には、国際線の規定が適用されます。
- 他の航空会社からガルダ・インドネシア航空便にお乗り継ぎでご利用になる場合には、MSC（Most Significant Carrier）の規則が適用となります。
- 他航空会社の運航するコードシェア便では、マーケティング航空会社の条件が適用となるため、弊社便名の場合は上記規則が適用となります。

※ご利用いただく運賃種別により、上記と一部異なる場合がございます。

詳しくは、事前にガルダ・インドネシア航空 または ご利用の旅行会社へお問い合わせください。

※1辺が120cmを超える または 3辺（長さ・高さ・奥行き）の合計が203cmを超える大型の手荷物、1つの重量が32kgを超えるお荷物はお預かりできませんので、2つ以上に分けるか貨物輸送をご利用ください。（貨物の手配には日数や別途手配費用がかかります。）

※受託手荷物には 現金・宝石類・貴金属・有価証券・貴重品・書類・カード類・携帯電話・パソコンと周辺機器類・カメラ・鍵といった、高価なものや貴重品はお預けにならず、機内にお持込みください。万一お預けになられ手荷物事故となった場合も、航空会社は責任を負いません。また、手荷物の取り扱いには十分注意をしておりますが、**受託手荷物の未着や破損等の手荷物事故の場合は、手荷物受取りエリア内のサービスクウンターにて必ずお申し出ください。**事後のお申し出には対応いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

### 超過手荷物料金

無料受託範囲を超えた場合、超過手荷物料金をお支払いいただいたうえで、お預かりいたします。超過手荷物料金はご利用の区間によって異なりますので、詳細はガルダ・インドネシア航空までお問い合わせください。

(例)

成田、羽田、関西 から デンパサル または ジャカルタまで（直行便/片道）  
1kg超過ごとに **2,800円**

インドネシア国内線区間（直行便/片道）

1kg超過ごとに **利用区間のインドネシア・ルピア建てエコノミークラス片道普通運賃の1.5%**

### 自転車（スポーツ用）をお預けになる場合の特例

スポーツ用自転車はおひとり様1セット / 30kg / タテ・ヨコ・高さの和が158cmを超えない範囲で、通常の受託手荷物とは別に、無料でお預かりをいたします。他の受託手荷物とは別梱包にした上で、チェックイン時に内容物をお知らせください。サイズ・重量が上記を超える場合については超過手荷物料金の対象となり、32kgを超える場合は手荷物としてお預かりができません。

※他の種別の手荷物を同一梱包された場合は、通常の手荷物超過料金の対象となります。

※取り扱いには十分注意をしておりますが、破損等の際には補償対象外となります。お預かり時に免責同意書（Limited Release）にご署名いただきます。また、お客様ご自身で、携行品保険をお掛けいただくことをお勧めいたします。

ゴルフ/スキー・スノーボード/ダイビング/ボディボード/サーフボード（ロングボードを含む）/その他スポーツ用品/楽器については、2015年9月1日以降もお預けいただけます。その際、その他の手荷物等の合計重量が上記の無料受託重量の範囲で収まる場合は追加料金なく、超過する場合には超過分の超過手荷物料金をお支払いいただくことでお預けいただけます。（ただし1点当たりの重量が32kgを超える場合はいかなる場合もお預けいただけません）なお、易損品扱いとなるため、お預かり時に免責同意書（Limited Release）にご署名いただきます。また、お客様ご自身で、携行品保険をお掛けいただくことをお勧めいたします。